

令和2年6月18日

学校法人三幸学園  
広島医療秘書こども専門学校  
校長 三川 和輝 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 片岡 陳矢

### 学校関係者評価委員会実施報告

2019年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 前原みゆき (アマノリハビリテーション病院 医事課課長)
- ② 越水巴菜 (2018年度卒業生)
- ③ 片岡陳矢 (飛鳥未来高等学校 主任)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和2年6月18日 (会場 広島医療秘書こども専門学校 304教室 (WEB会議))

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2019年度 学校法人 三幸学園 広島医療秘書こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 櫻井宏次

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 片岡陳矢

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

【教育強化目標】「プロの社会人を育てる」

\* 授業、行事等教育活動を通じて、教員や他生徒の関わり中で感じる「授業が楽しい」「学校が楽しい」という定義を、単に楽しいという平易なものではなく「自分にとって成長実感を得られること」と位置づけ、実社会に通用する人材となれるよう成長できる環境の提供を行う。

<結果>(卒業時アンケートより)

- ・授業の満足度・・・昨年度比+0.37pt
- ・校外学習の満足度・・・昨年度比+0.18pt
- ・学校行事の満足度・・・昨年度比+0.6pt
- ・本校で成長することができたか・・・昨年度比+0.59pt

\* 出席状況の改善、体調管理を含めた自己管理能力は社会人として必須であり基本と位置づけ、授業等への出席率向上を図る。

<結果>

- ・精皆勤率:60%(対前年比 +28.7%)

\* 全ての生徒に成長の機会を与え、社会へ送り出す責任があると位置づけ、退学者数を前年の水準以下に減少させる。

<結果>

- ・退学率:4.8%以下(対前年比+0.1%)

### ② 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

学校の理念、目的、育成人材像は専門分野の特性も踏まえ明確に定められており、情報公開もなされている。とはいえ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い大きく変わった社会情勢とアフターコロナの社会生活において、業界に求められる人材の要件についても変化が求められる可能性が高い。これからの世の中という意味での将来的な構想までは明確に描けていない。

#### ② 今後の改善方策

より一層社会全体の動きにアンテナを張り、国や自治体および業界等の発信する情報を収集することに努める。併せて、業界関係者（卒業生含む）から積極的に情報を得るルートを確保し、教育活動および教育課程や授業シラバスにも反映できるようにする。

#### ③ 特記事項

特になし。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・前原委員→新型コロナウイルスの影響として、病院に来ることが怖いという患者様が多く、なんとか電話で薬を出して欲しい、先生と話したいという希望があるのが現状。電話では顔が見えない分、会話だけで相手の気持ちや思いを聞き取り、医師へ伝える力が必要になる。即戦力という点では、専門学校を卒業しているので知識はある前提で、受付での患者対応として保険の理解や聞く力が必要。
- ・越水委員→電話再診を行っている中で患者様が何を伝えたいのかを聞く力や、来院した患者様の中にも病院に来ることが怖いと感じられている方もいるので対応方法などを説明したり、聞く力と伝える力の両方が必要。保険証や公費、レセプトチェックに関して学校でしっかり学んでおくと良い。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

学校運営に関する情報のシステム化は年々進んでいるが、教務・広報・経理のシステム一元化、および ICT 学習システムの充実がなされるとより一層業務の効率化が図られると思われる。

### ② 今後の改善方策

本校のシステムは全て学園全体での開発・運用となっているため学校単位での改善や改修はなかなか難しいが、既存のシステムの活用方法における教職員間での共通認識により業務の効率化のみならず、教育に質向上に寄与することが可能であると考える。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・片岡委員→情報システム化において、教職員も時代やニーズに合わせた知識を取り入れることが必要。
- ・前原委員→法人内では患者様の情報共有ができるツールを使用しているが、医事課の業務上はまだ電子化していない。その他、施設間移動の時間短縮、時間の有効利用を目的に web 会議を実施している。
- ・越水委員→システム管理課により、新型コロナウイルスの感染の疑いが出た場合や面会ができなくなった場合の対応を iPad を使用して対応することになった。タブレットの使い方等も知っておく必要がある。電子カルテにより作業は簡素化、パソコンが使えれば問題はない。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

#### ① 課題

関連分野の実情に精通した教員の確保という点で、勤務している教員に対しては現場の新しい知識を吸収するための研修体制を作ることが必要。また業界との連携に優れた教員の確保という面でも現在の業界が置かれた状況を鑑みると現場と学校との兼務は非常に難しい。

#### ② 今後の改善方策

業界関係者を招聘し関連分野の研修を実施する。現場の逼迫した勤務状況を鑑み、年間で計画を立てて講師等の手配を進める必要がある。

また、教職員による訪問等(電話での聞き取りも含む)にて現場の情報を入手するよう努める必要がある。

#### ③ 特記事項

今年度で2年目を迎える単位制教育課程について、過年度の振り返りも行いつつ、新たに発生する教科の適切な運用を進める必要がある。また教育課程編成委員会等の客観的な意見も参考にしながら、目指す教育・人物育成像に対する教育効果の進捗を確認し、必要に応じて教育課程の検討を行う。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・前原委員→現場実習について。1年生は現場を知ってもらう、慣れてもらう良い機会だった。

2年生は将来どのような仕事に就きたいか個人個人違うため、興味のある仕事を重点的に行えるよう配置することで、向上心を持ってやっている印象がある。

必要な知識としては、公費の意味合いや役割などを理解していた方がスムーズ。具体的には、身体障がい者(重度)など種類によって市町の負担金が違うことや、精神障がい者の負担割合や薬局とのやり取り、難病の方は合算で月の医療費の支払いが変わる事なども知っておくと良い。

・越水委員→医療文書の種類や保険に関する知識、言葉遣いなど現場でどのような言い回しがあるかを実習前に知っておくと良い。在学中の医療機関の方の講話はあった方が良い。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

就職率の向上は、概ね例年通りの高水準で結果が出ており問題ない。

資格取得率の向上は、前年度に比べ概ね改善はされているが更なる向上が求められる。

退学率の低減は、年ごとに生徒が抱える様々な事情が混在するため、個々の対応が必要であり、前年度比較では明確な改善は図られていない。

##### ② 今後の改善方策

キャリア支援体制のさらなる充実、求人確保の取り組み強化が必要である。

資格取得に向けた授業内でのサポート体制の強化は引き続き行いたい。

退学防止に向けた対策は、個々の事情に応じて適切な対応者による支援を行い、減少させたい。

##### ③ 特記事項

特になし。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・片岡委員→退学防止に関して。高校では各担任が観点を変えながらこまめな面談を実施している。

姉妹校への進学後も専門学校と連携し、高校担任からも話をすることで退学率の軽減に繋がる。

・前原委員→採用時、資格の有無は参考にはするがそれが全てではない。ただ、専門学校を出ているのにも関わらず資格がないのは良い印象を与えない。意欲ややる気を重視し、即戦力を求めるならば経験も重視する。

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・卒業後のキャリア支援体制、同窓会組織の認知度向上と活用。
- ・コロナ禍における家計急変など、経済的困窮者に対する支援体制。
- ・新しい生活様式を踏まえた、安心安全な教育環境の構築。

### ② 今後の改善方策

- ・同窓会 LINLK(卒業生支援サイト)の認知度向上を図り、卒業後の支援を手厚くする。
- ・学園としての経済支援制度、国や自治体および学生支援機構等の奨学金を正しく理解し、適切に案内する。
- ・国や自治体の示すガイドラインに則った適切な教育環境の整備。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・越水委員→卒業生の支援体制に関して。一度就職して退職した人への支援として、卒業生向けの求人が見れると良い。同窓会 LINK は卒業前に登録したが閲覧はしていない。
- ・前原委員→毎年新しい方を迎えるのではなく欠員補充のため、一度就職したが退職して次を探されている人の情報が分かると良い。



## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

- ・定期的な避難訓練、防災対策の確立。
- ・コロナ禍における学外実習施設の確保。

### ② 今後の改善方策

- ・校内の保育園と連携した避難訓練の実施。
- ・現場へのヒアリングをもとに、適切な外部実習施設の確保と、実施方法の検討。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

・教育効果の適切な情報公開による、学生募集の最大化。

### ② 今後の改善方策

・ロコミや SNS 等の活用による、リアリティのある学内情報の発信を行い入学者を適切に確保する。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ①課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ②今後の改善方法

#### 【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③特記事項

なし

### ④学校関係者評価委員会コメント

特になし。

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

- ・適切に法令を遵守した運営を行っている。

### ② 今後の改善方策

- ・引き続き教職員へのコンプライアンスに対する啓蒙を行う。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

### ① 課題

- ・現状、地域向けの公開講座・教育訓練の受託は行っていない。
- ・学習の一環としてのボランティア活動を推奨していく。
- ・子育て支援教室の開校、校内の保育園との連携によるボランティア活動。

### ② 今後の改善方策

- ・引き続き保育園との連携を図り、活動の幅を広げていく。
- ・地域に開かれた学校としての役割を構築していく。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・2019年度の自己評価の報告に対して、委員の方々から承認をいただいた。
- ・2020年度の目標として引き続き、教育理念である「技能と心の調和」を念頭に教育や人材育成を行っていく。これまでの教育にプラスして現場からの意見を踏まえ、現場で行かせる知識や技術の提供と、外部講話など通じて教育内容をより強化していく。